



あ お ば だ よ り



Vol. 56
情報管理広報委員会



“ 歓迎 ” 神野 哲平先生



初めまして。

令和五年四月に入職いたしました、神野哲平です。

出身は高知県で、熊本大学に入学したご縁で、今や人生の半分以上を熊本で過ごしています。

平成二十五年に医師になり、精神科医としては八年目になりました。八年間をかいつまんでお伝えします。

初期研修を終えた平成二十七年に熊本大学病院神経精神科に入局しました。認知症が仕事の中心で、診断・治療はもとより、最も大切だったのは基本的に治らない病気とどう接するか、ということだったように思います。

さて、大学病院の二年目以降は修行目的の移籍を繰り返し命じられます。平成二十八年、おりしも熊本地震の年、私は国立病院へ移籍しました。入院期間が短く、緊急対応の連続で忙殺されました。

ただこの時期、膨大な数をこなしたことで、向精神薬の処方感覚の初歩が備わりました。加えて、翌年移籍した弓削病院で精神科救急にあたり、薬物療法に関しては考え方の基礎が成りました。

それなりに結果を出せるようになったものの、まだ大きな課題が残されていました。薬が効かない(あるいは使えない)となると途端にどうしていいかわからなくなり、精神科医としては片手落ちだったのです。

当時の私は精神療法に懐疑的で、理論があるのは知っていても、実際的な治療法としては納得できていませんでした。要は、精神療法でよくなったという例を見たことがなかったのです。

そんな中、平成三十年に移籍した県立こころの医療センターで転機が訪れます。

当時同院には児童病棟があり、小・中学生の入院症例を受け持つうちに、精神療法的なアプローチに効果があると明確に実感し、少しずつ対応の引き出しが増えていきました。それはやがて、成人の治療にもつながっていくものでした。

こうして薬物療法と非薬物的治療の両輪が備わり、ちょうど平成の終わりに、精神科医としての私のかたちが出来上がりました。

その骨組みを意識しながら、日々診療に努めております。

若輩ではございますが、これから、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



〈 神野 哲平 〉

第2陣 外国人特定技能実習生（介護）を受け入れました！

当院では第2陣となる外国人特定技能実習生（介護）2人が、令和5年6月16日より勤務しております。教えられた事には一生懸命取り組み「ありがとうございます」と謙虚な姿勢です。

患者様やスタッフにも常に笑顔で接しています。日本はすばらしく仕事も充実していると思われる様です。自転車で通勤している姿を見かけると感化されます。慣れない生活や言葉も笑顔で乗り切って欲しいと思います。

〈1階病棟：川島 理一郎〉



シドニーさん

私はツドニーと申します。
フィリピンのダバオから来ました。
趣味はカラオケやマニメを見ることが好きです。
あちば病院で働いて、心から感謝しております。
ですが、私は勉強が好きではなく仕事と人間関係も
一所懸命に頑張ってます。ありがとうございます。



シイラさん

私はツラと申します。22歳でフィリピンから来ました。
趣味はカラオケで2ヶ月間ぐらい働いています。
はじめはたいへんでしたが今は楽しんで働いています。
最初はみんなに迷惑をかけていました。今はみんなに
迷惑をかけないよう頑張っています。ありがとうございます。



宇城認知症地域連携懇話会 学術講演会開催される

去る7月14日、ウイングまつばせにて「宇城認知症地域連携懇話会学術講演会」が開催されました。

コロナ禍においてはオンラインでの開催でしたが5類移行に伴い、令和2年2月以来の集合型研修となりました。

事例検討としてコミュニティハウスみんなの家、毛利翼氏による「小規模多機能で保護に関わったケース ～関係機関との連携・その後～」を。

特別講演をケアサポートメロン元田真一氏より「認知症者のこれから ～今、改めて身体拘束を考える～」を発表頂きました。

集合型研修ならではの雰囲気と一体感の中、両発表共に支援者としてぶつかる葛藤や思いにフォーカスが当たる内容で、今後の支援の糧となる大変有意義な時間となりました。

〈地域連携科：瀧上 祐規〉



病院行事 中止のお知らせ

・ あおば病院 文化祭 “あおば祭”

上記催し物は、今年度も新型コロナウイルス感染回避の為、止むを得ず中止させて頂く運びとなりました。

宇城市認知症市民フォーラム in うき 2023 のお知らせ

令和5年 11月11日(土) 開催予定です

詳しい時間は追ってホームページにてご案内致します。

病院の理念

- 「ひと」 その人らしさを大切に
- 「こころ」 こころのリハビリを通して
- 「和」 地域に和をひろげます

病院の基本方針

- 一、人権の尊厳 ころを病む方々の「ひと」としての尊厳を何よりも尊重し、患者さんやご家族に、やさしさと思いやりの心で接します
- 一、人間的成熟 医療にかかわるプロとしての自覚と誇りを忘れず人間的成熟を目指し、たゆまぬ努力を続けます
- 一、チーム医療 全ての職種の職員は、それぞれの専門性と役割を果たすと共に互いに連携し合い、より質の高い医療サービスを提供します
- 一、地域社会との連携 地域との情報交換を密にし、予防と安らぎの場を提供しながら、社会復帰を通じた生活活動支援に積極的に取り組みます

病院所在地 & アクセスマップ



医療法人社団 明心会
あおば病院
精神科・心療内科

〒869-0513
熊本県宇城市松橋町萩尾2037番地1
TEL: 0964-32-7772
FAX: 0964-32-7333
URL: <http://www.aoba-hospital.jp>

